

第5回 日本短歌大会 in 岡崎 入選作品

今回の大会は、岡崎市の六ツ美西部学区にある文化振興団体、一筆啓上・作左の会主催のふるさと賞（俳句と短歌）作品応募に、日本短歌協会が協賛したものです。

短歌部門はジュニア含め411首、俳句部門、974句応募がありました。

後援は、岡崎市教育委員会、六ツ美商工会・学区社教委員会・総代会、岡崎ホームユース・東海愛知新聞です。

選者 甲村秀雄・梓 志乃・依田仁美・斎藤すみ子

最優秀作品

自販機にペットボトルの水を買うかんかん照りの八月六日

野原てい子

千代紙を千羽の鶴に折り重ね行く場所のないところをかくす

大住迪子

六脚の椅子にしみたる温もりを一つとりだし鯛そうめん食む

沖野泰子

優秀作品

暁闇を覚めて昨日の哀しみと重ね聴きいる蝸の声

鈴木千代乃*

クマクマ蝉のワツシヨイワツシヨイお祭りだこの世に花咲く七日を歌へ

能登正嗣

恙なく金婚迎う喜びに平和の冥利を思う八月

星野とみ子

日めくりを一日（ひとひ）に五枚めぐること時の走りて日ぐらしの鳴く

堀田節子

梅雨のなか観光バスは出でゆきぬあまたの生をなかに束ねて

大河内つゆ子

積雲の高き夕空輝きて稲田はふいに雀を放つ

渡辺雅子

婚姻を届けにむかう雪の道あなたにつけた足跡を踏み

麻倉 遥

思春期の少女のつくりし目玉焼笑うその目がちらり危な気

高梨照美

しあわせはこれ位でよし子や孫に重宝がられ雑事に追わる

積賀貴子

ペットボトル洗ってつぶして再生へだす朝私もきれいになった

桜田勢子

（お詫び）作品集は、応募全作品を掲載しましたが、一部入選作品が一般作品に掲載されました*事務局としてここに掲載しお詫びします。 ふるさと賞事務局 小島資行